

Nobunaga PGとは

私たちは当院小児科専門研修プログラムを「**Nobunaga PG**」としました。

ご存知、織田信長は「尾張の大うつけ者」と云われながらも教育係に恵まれ天下人となりました。西部医療センターはその信長の教育係、平手政秀に由来する「平手町」に存立しています。

私たちはこのプログラムを「**Nobunagaプログラム**」と呼び専門医の研修に対応させていただきます。

Nobunaga PGとは

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	西部医療センター専門医1年目PG（指導専門医とペアで）											
2年目	西部医療センター専門医2年目PG or 連携施設（1連携施設研修期間：3～6ヶ月）											
3年目	西部医療センター専門医3年目PG（指導専門医とペアで1年目専門医も指導）											



Nobunaga PG

専門研修1年目

西部医療センター

- ・総合医としての小児プライマリ・ケアを習得するために、指導医と共に
1) 小児救急、2) NICUの初期対応を研修する。
- ・病棟では小児医療センター、周産期センターに入院してくる患者を指導医と共に主治医として受け持ち、アレルギー、内分泌、神経、腎臓、感染症、発達障害、新生児、臨床遺伝相談といった小児・新生児疾患に対する知識を深め、診療技術を習得する。

専門研修2年目

西部医療センター or 連携施設

- ・基幹施設での1年間の研修ののち、当院で完結出来ない領域（PICU：小児3次救急、循環器、血液・腫瘍）に関しては、希望する研修分野に応じて、連携施設で3ヶ月～6ヶ月をめぐりに関連施設研修を行い、専門医としての知識・技術を研修する。地域医療研修も可能。
- ・地理的利便性を生かし、勉強会や研修会に参加する。

専門研修3年目

西部医療センター

- ・再び基幹病院に戻り、初年度専攻医とペアになり、自身の研修を進めながら後輩を指導する。
- ・小児科専門医試験の準備を始める。



病院長からのメッセージ

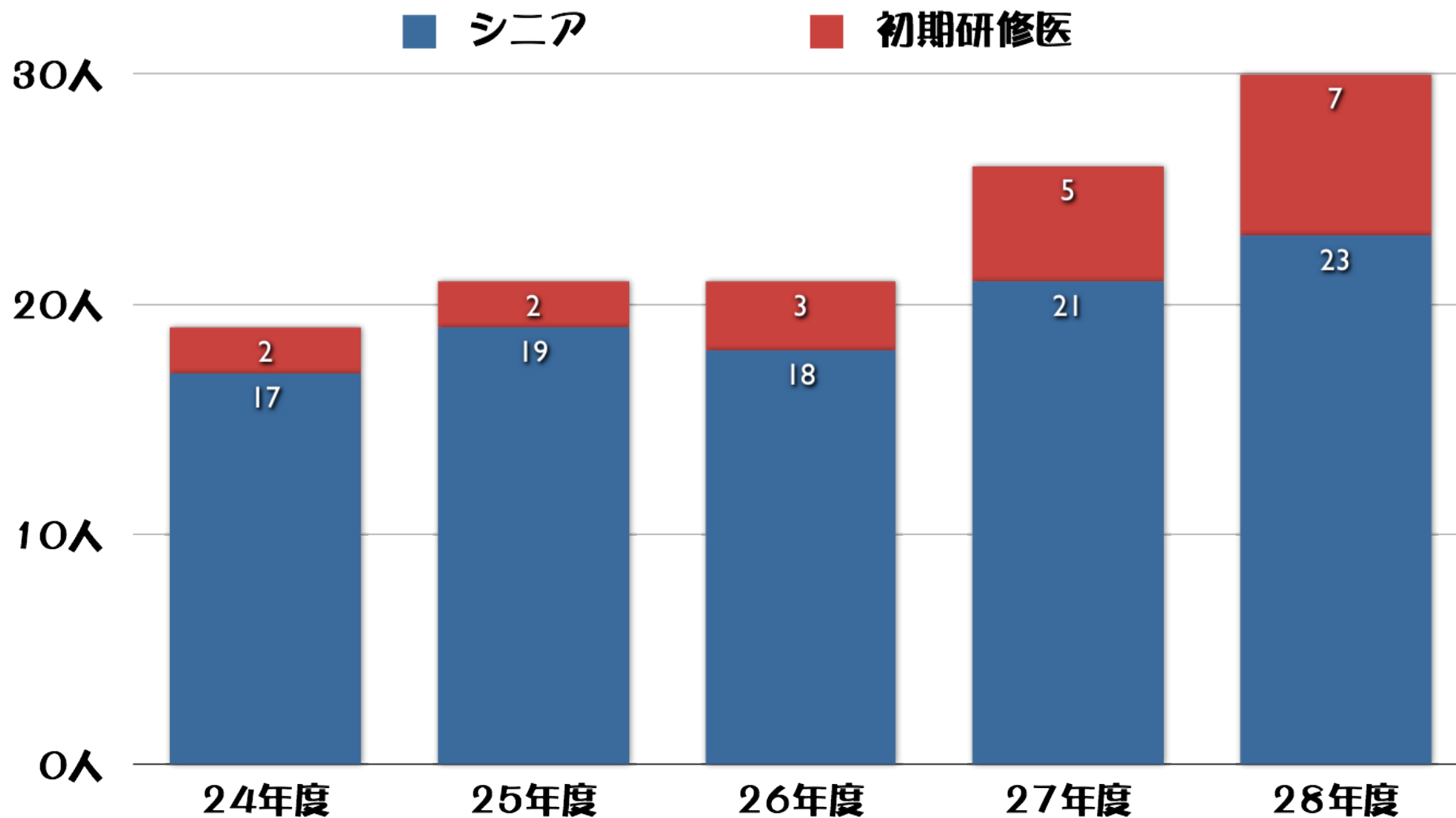
魅力ある病院→Drs.が集まる！

魅力あるプログラム

→専門研修医が集まる！

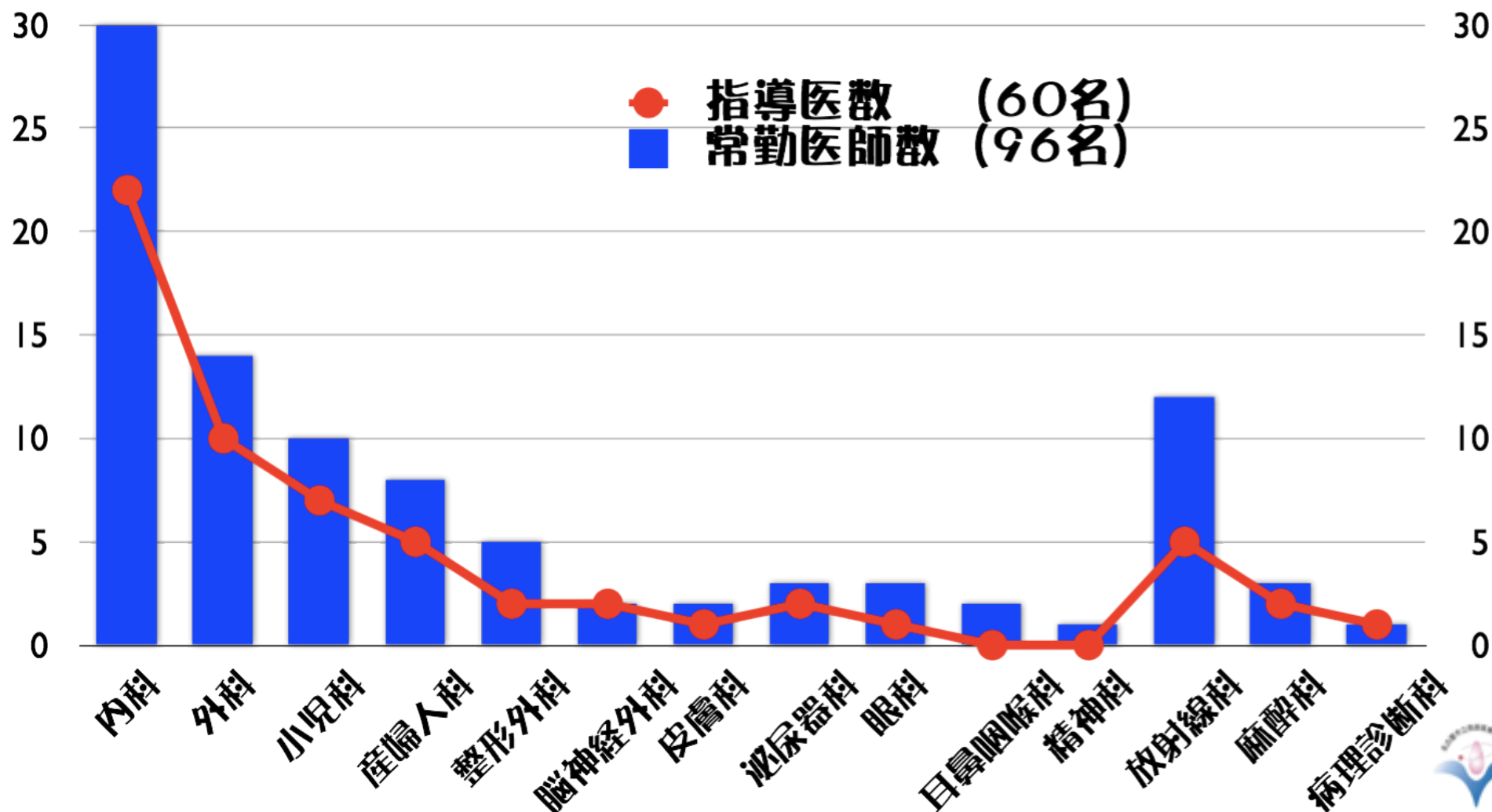


シニア・初期研修医の動向



名古屋市立西部医療センターの 臨床研修指導体制

—各診療科の常勤医師数と臨床研修指導医数—



院長を経験して一年

→組織や人を動かすのは難しい

→1人の百歩より百人の1歩
一部の人間の努力ではなく
全員が頑張る

→「平均より良い病院」ではなく、
「最高の病院」を目指す

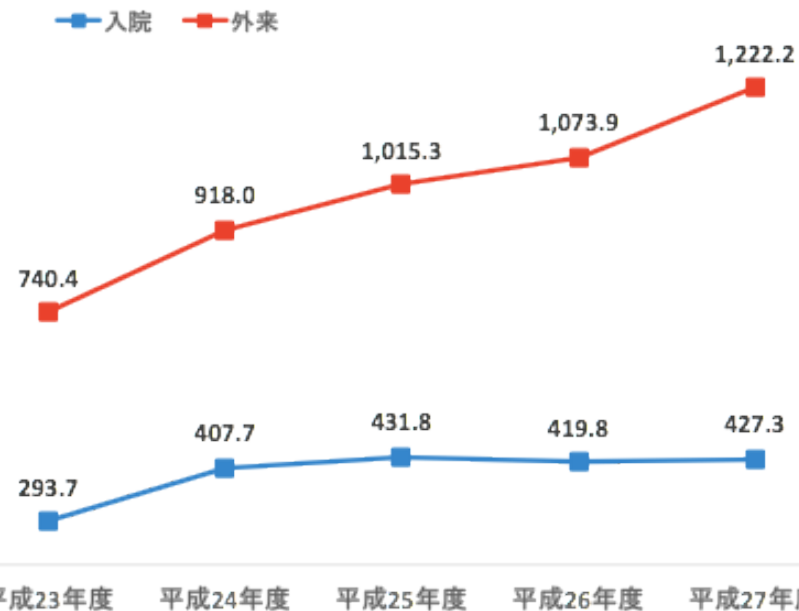


【経営指標（年度別）】

名古屋市立西部医療センター

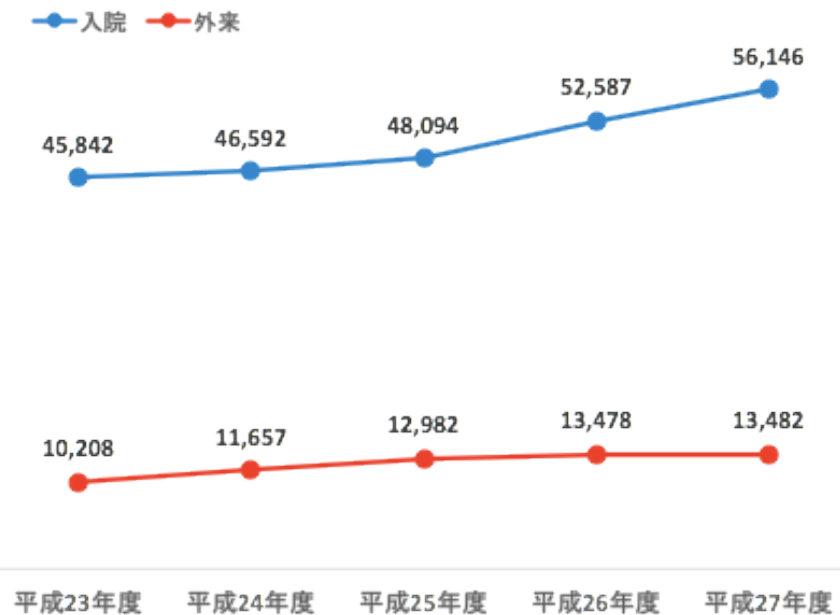
◆1日あたり患者数の推移

(人)



◆診療単価の推移

(円)

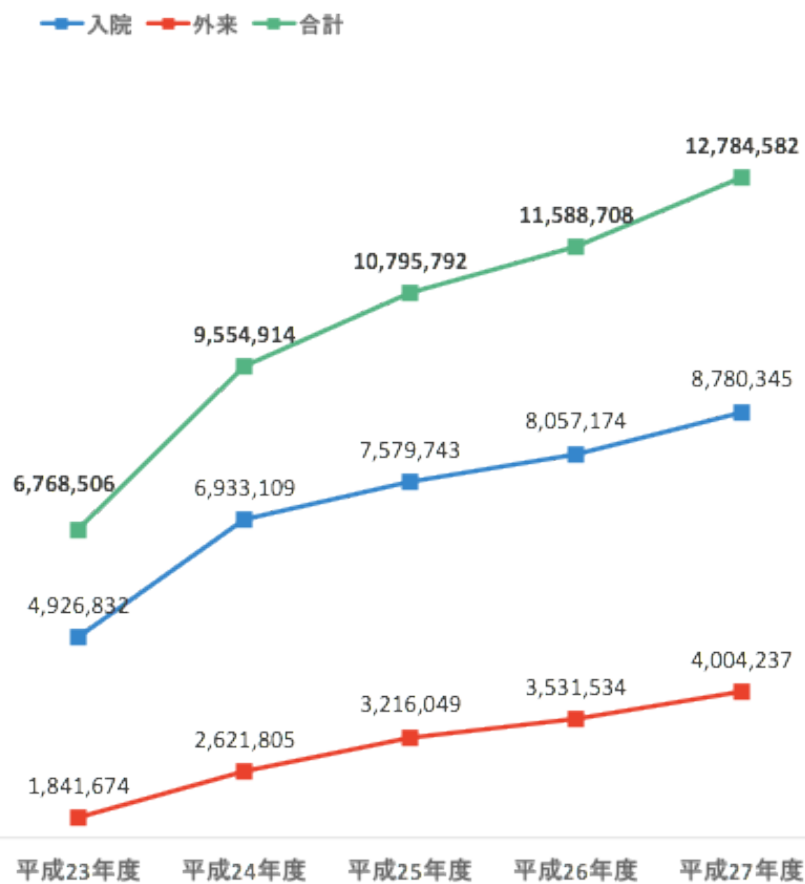


※平成23年度は、4月城北病院の実績を含む



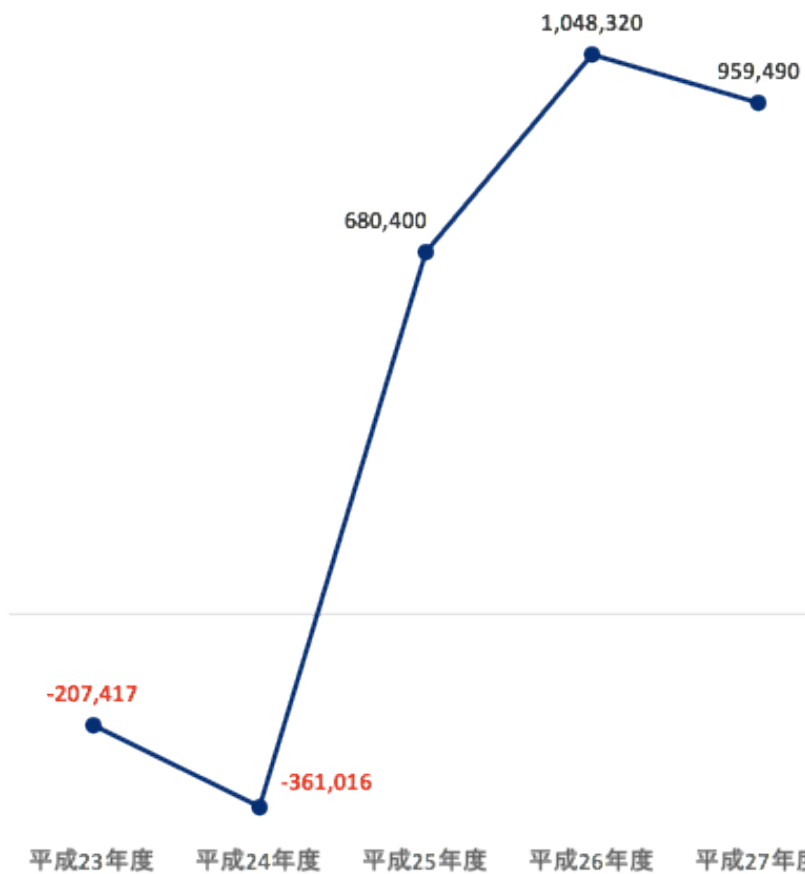
◆入院・外来収入の推移

(千円)



◆単年度資金収支の推移

(千円)



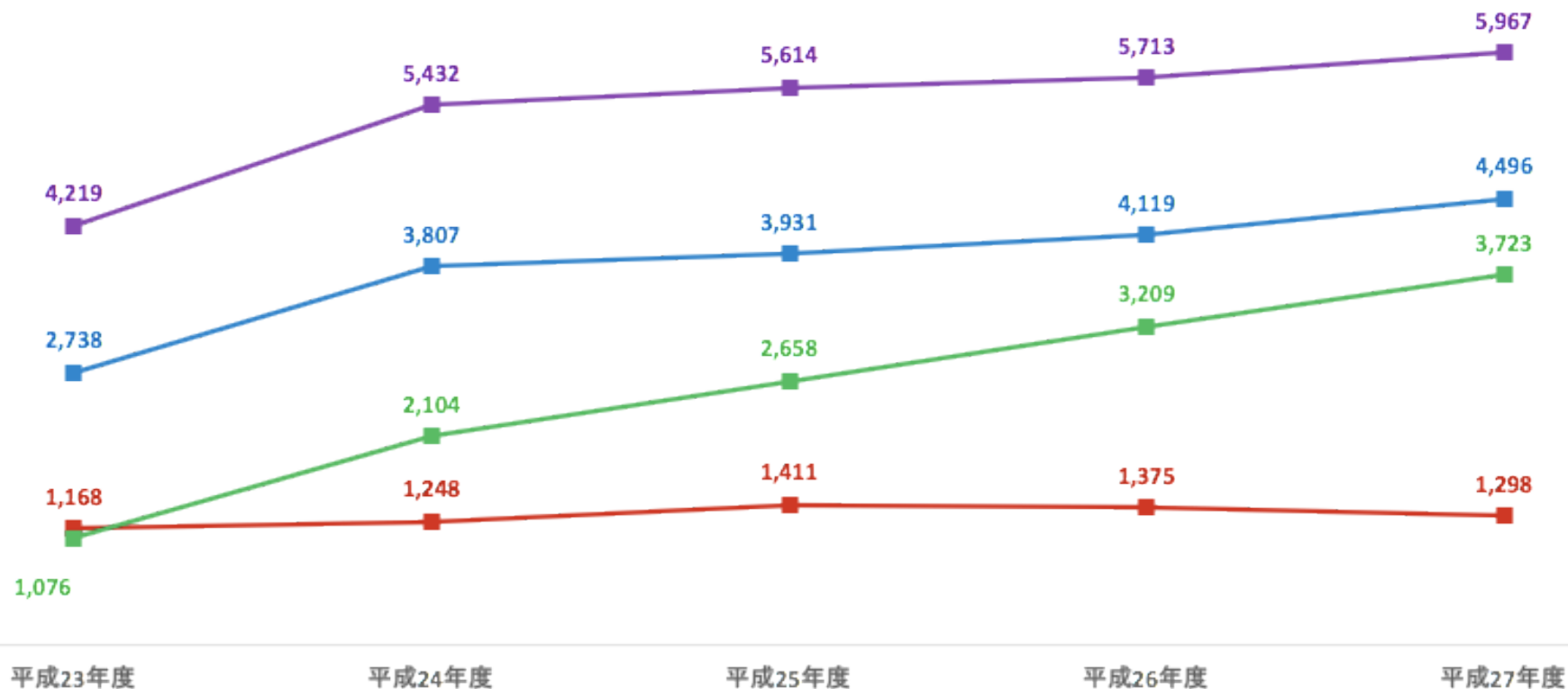
名古屋市立西部医療センター



主な診療実績

※平成23年度は、4月城北病院の実績を含む

■手術件数 ■内視鏡検査 ■分娩件数 ■外来がん化学療法



名古屋市立西部医療センター



5周年記念パーティー写真

